

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・移住コンシェルジュ、移住サポーターの配置により、県外での相談体制を強化するとともに、毎月の移住相談会の開催や女性をターゲットとした移住イベント、首都圏の非正規雇用者を対象としたモニターツアーなどを実施した結果、相談件数が過去最高となった。(H29:1,782件 → H30:2,028件 → R1:2,202件)
②	・本県の強みである産業集積の厚みや市町村との連携による迅速なワンストップサービスを活かした誘致に積極的に取り組んだことにより、51件の企業立地があり、702人の新規雇用と337億円の設備投資に結びついた。 ・農業分野では、R1年度に22件の企業参入があり、343人の新たな雇用が見込まれている。
③	・移住した方の不安や悩み、現在の仕事や取り組んでいることなどを気軽に話せる場として移住者交流会を開催し、移住者間のネットワークの構築を図った。(参加者22名)

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(元年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①②	ふるさと大分UIJターン推進事業	84.0	138
③	移住者居住支援事業	84.0	138
②	企業等農業参入推進事業	110.0	161
	企業立地促進事業	204.0	195

【VI. 施策に対する意見・提言】

○「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会 第2回総合部会(R1.7)

・リタイア後も活躍できる場があり、一家みんなが安心して暮らせるといった観点など、ターゲットの年代等に応じて、福祉と仕事や教育などをうまくリンクさせて打ち出せるとよいのではないかと。

○第14回まち・ひと・しごと創生本部会議(R2.2)

・福岡市に設置される拠点(dot.)について、市町村や農業団体、福祉・医療・介護の企業など、幅広い職種の方がPR(取り組みなどの説明)できる場として活用させてもらいたい。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な移住相談会の開催や専門誌による情報発信に加え、福岡市における拠点施設dot. を活用し、学生やUIJターン就職希望者に対し、企業説明会を開催するほか、医療・福祉系職種、農林水産業などのセミナーを実施し、多様な職種への就業につなげる。 ・特に転出超過が大きい若い女性をターゲットとして、結婚や起業など具体的なテーマ別のイベントを開催し、細やかなニーズを捉えた形での取り組みを行う。 ・首都圏において古民家暮らしなどをテーマとした移住イベントを実施する。 ・若者の移住促進に向けて、非正規雇用者を対象に、大分での仕事や暮らしを体験してもらう移住ツアーを実施する。 ・先輩移住者や移住を応援する企業・団体と連携し、大分の魅力情報の発信や交流促進など、県民総ぐるみでの移住促進に取り組む。